

米国フロリダ州 カンキツグリーニング病耐性の6品種を導入

[FreshPlaza 2025年4月14日](#)

フロリダ州はカンキツグリーニング病(HLB)耐性が向上した6つの柑橘類新品種をリリース

非営利法人フロリダ州基本種苗生産機構(FFSP)は、カンキツグリーニング病(HLB)に対するより強い耐性を示す6つの有望な柑橘類品種の導入について、新品種開発管理法人(NVDMC)とのライセンス契約に署名した。これは、フロリダ大学食品農業科学研究所(UF/IFAS)及びフロリダ州政府柑橘局(FDOC)と共同で進めてきたものであり、20年近くHLBと戦ってきたフロリダ州の柑橘類産業の回復を支援するためのより広範な取組みの一部である。

ライセンスを受けた品種のうち、「N14-10」ハムリンは、そのHLB耐性と糖度及び可溶性固形物含有量の向上で知られている。スイートオレンジの選抜品種である「OLL-DC-3-40」と「OLL-DC-3-36」もHLBに対する耐性を示し、糖度、色及び果汁の品質が向上している。マンダリン交雑種「C4-10-42」と「RBA 13-18」は糖度と色が改善されており、加工用途や非濃縮(NFC)オレンジ果汁へのブレンドに適していると考えられる。「オレンジ14」台木は、柑橘類の根喰いゾウムシ(Diaprepes Root Weevil)やフィトフトラ(疫病菌)の影響を受けている地域も含め、HLBの存在する環境で良好な成績を示している。

6つの品種はすべて特許が出願されており、2009年以来、フロリダ州の生産者に増殖と販売のためにライセンスされたUF/IFASの他の45の柑橘類品種に追加されることになる。新品種はいずれもHLBへの抵抗性(感染しない性質)は持たないが耐性が向上しており、柑橘類産業の長期的な解決策を構築するための継続的な取組みに貢献するものである。

FFSPのジョン・ボイテンミュラー事務局長は、パートナーシップへの熱意を表明し、目標はこれらの新品種を迅速に生産者の手元に届けることであると述べた。これらの6つの新品種は、同州レイクアルフレッドのUF/IFAS柑橘類研究教育センターのフレデリック・グミッター・ジュニア、ジュード・グロッサー両博士によって開発された。グロッサー氏は、これらの新しく選ばれた穂木と台木が非濃縮オレンジ果汁の品質を向上させ、持続可能で収益性の高いフロリダ州の柑橘類産業の役に立つと強調した。

フレデリック・グミッター・ジュニア氏は、より多くの成績データの取得が望ましい一方で、状況の緊急性を踏まえれば行動が必要であると指摘した。同氏は、これらの選ばれた品種を、商業的果樹園での試験に現在使用できる最も有望な部類のものであると説明した。

業界のリーダーたちは、この動きを歓迎している。フロリダ州柑橘類協会のマット・ジョイナー副会長兼CEOは、この共同の取組みを称賛し、この品種が生産者の選択肢を広げ、業界を活性化する可能性について楽観的な見方を示した。NVDMCのピーター・チェアーズ事務局長は、改良された植物材料を生産者に迅速に届けることの重要性を強調し、FDOC、UF/IFAS、FFSP及びその他の関係機関の取組みを称賛した。

フロリダ州柑橘局(FDOC)のシャノン・シェップ局長も、こうした意見に共鳴し、このようなパートナーシップがフロリダ州の柑橘類産業の将来にとって不可欠であると指摘した。同局長は、この取組みは、有望な品種を生産者の手に渡し、持続可能性と収益性に向けた業界の動きを支援するための重要なステップであると述べた。

(関連記事) 米国フロリダ州 グリーニング病耐性品種の導入と出荷予測

[FreshFruitPortal](#) 2025年4月11日

訳注：原文記事前半のカンキツグリーニング病耐性品種導入の記述は、前のページの記事と同趣旨のため省略しました。

農務省の2025年4月の柑橘類推計値

フロリダ州柑橘類協会のマット・ジョイナーCEOは、農務省の最新の柑橘類出荷予測(2025年4月)について発した声明の中で、今回示された安定性は、問題に直面しても回復力があることを表していると述べた。

同CEOは、「壊滅的な嵐とカンキツグリーニング病との継続的な戦いにもかかわらず、我々の生産者は引き続き忍耐強く取組み、治療と処置は柑橘類の果樹の回復を助けている」として、「我々は、ベン・アルブリットン州上院議長と、業界の長期的な持続可能性のための研究と改植への記録的な投資を通じて柑橘類を再び素晴らしいものにするという同議長のビジョンに感謝している」と述べた。

米国農務省が2025年4月に改訂した柑橘類出荷予測では、2024-25年度のフロリダ州の出荷量をオレンジ1,160万箱、グレープフルーツ130万箱、タンジェリン及びタンジェロ40万箱としている。

(関連記事) 米国 柑橘類出荷予測 4月

[米国農務省農業統計局](#) 2025年4月10日

フロリダ州農業消費者サービス局との共同発表

柑橘類の品目別出荷量及び予測出荷量 - 州別及び米国計

品目及び州	出荷量 ¹		2024-2025 予測出荷量 ¹	
	2022-2023 (1,000 箱)	2023-2024 (1,000 箱)	3 月予測 (1,000 箱)	4 月予測 (1,000 箱)
バレンシア種以外のオレンジ²				
フロリダ州	6,150	6,760	4,600	4,600
カリフォルニア州	36,000	38,300	39,000	40,000
テキサス州	570	690	600	530
米国計	42,720	45,750	44,200	45,130
バレンシア種のオレンジ				
フロリダ州	9,670	11,300	7,000	7,000
カリフォルニア州	8,600	7,100	7,500	7,500
テキサス州	560	490	300	350
米国計	18,830	18,890	14,800	14,850
オレンジ合計				
フロリダ州	15,820	18,060	11,600	11,600
カリフォルニア州	44,600	45,400	46,500	47,500
テキサス州	1,130	1,180	900	880
米国計	61,550	64,640	59,000	59,980
グレープフルーツ				
フロリダ州合計	1,810	1,790	1,200	1,300
赤肉系	1,560	1,550	1,070	1,160
白肉系	250	240	130	140
カリフォルニア州	4,500	3,900	3,700	4,300
テキサス州	2,250	2,400	2,500	2,300
米国計	8,560	8,090	7,400	7,900
レモン				
フロリダ州 ³	(NA)	(NA)	600	600
アリゾナ州	1,400	950	900	950
カリフォルニア州	25,800	24,500	26,000	27,000
米国計	27,200	25,450	27,500	28,550
タンジェリン及びマンダリン⁴				
フロリダ州	480	450	350	400
カリフォルニア州	23,500	27,200	25,000	26,000
米国計	23,980	27,650	25,350	26,400

¹ 1箱当たりの正味重量(ポンド) オレンジ：カリフォルニア州 80、フロリダ州 90、テキサス州 85。グレープフルーツ：カリフォルニア州及びテキサス州 80、フロリダ州 85。レモン 80。タンジェリン及びマンダリン：カリフォルニア州 80、フロリダ州 95。

² カリフォルニア州ではネーブル種及びその他の品種。フロリダ州とテキサス州では早生品種(ネーブル種を含む)及び中生品種。

³ 2024-25 年度産から推計を実施。(NA)はデータなし。

⁴ タンジェロ及びタンゴールを含む。